

顧大	問島	雄一郎	千田	富義	江口	壽榮	夫生	田中	理行	藤本	良哲	範三
河	邨	文重	野永	直雅	大川	弥幸	生子	原山	信彰	松丸	哲亮	三輔
五津	味山	直	村賀	耕研	奧合	芙美	子一	肥村	久美	水村	一和	一郎
			萬歲	登茂	加野	周康	德夫	良木	信隆	里	惠信	也一
委明	員石	謙*	山編	巖	河兎	和誠	徹志	二野	元	渡	明英	男元
伊上	藤田	利淑	人安	彦樹	近澤	鶴孝	吉仁	野初	泰道	綿	英淑	夫子
大大	井橋	洋甫	勢	德真	高竹	秀英	夫二	福藤	克	(五十音順)		
緒	方		久	瀨康	武田							

・いかに堅牢なシステムといえども所詮歴史的な産物であって、いずれ新しいものに取って代わられるもの。しかし一旦できあがってしまったものは、その存在自体が自己主張し始め、それを変えようとするものに抵抗する。中身にあった入れ物にすべきで、そうすれば中身も変わるだろう。それがうまくいかなくなるとは全体が機能不全を起こす。戦後50年を経て、いままでの政治・経済・社会のシステムでは対応できなくなっているものが、例えば最近毎日のようにテレビ、新聞を賑わせている住専問題であり、エイズへの対応であろう。

・今月はリハビリテーションのシステムがテーマ。リハビリテーションはまだ新しい学問だから、システムが古くなるどころか、システム自体まだ未完成という面があり、これが主題として取り上げられるようになったのも最近の話。まだまだこれからというわけだが、幾つかの先端的な大学、病院、地域のシステムの現状の紹介は参考になると思います。作られたシステムが有機的・機能的に働くためのノウハウを読み取って下さい。

(K)